



報道発表資料
(経済同時)

令和6年11月13日

漆工業界の将来を担う人材を
育成します！

(地独) 京都市産業技術研究所
〔担当：知恵産業融合センター〕
〔電話：075-326-6100〕
京都市産業観光局
〔取次：産業イノベーション推進室〕
〔電話：075-222-3324〕

令和7年度 伝統産業技術後継者育成研修 「漆工コース」研修生募集



(地独) 京都市産業技術研究所では、京都の伝統産業である「西陣織」「京友禅」「京焼・清水焼」「京漆器」といった分野において、専門知識や高度な技術を習得するための実習を中心とした技術者育成研修を実施し、業界と連携しながら長きに渡り伝統産業の次世代を担う職人の育成を支援しています。

この度、「漆工コース」の研修生を募集します。

本研修は、漆工業に関わる従業員の方や漆工を学んでいる学生の方などを対象に、下地から加飾までの一連の作業を通して、漆工に関する専門的な知識及び手法を幅広く修得するものです。伝統的な技法・技術に加えて、新しい材料や研究事業により開発・商品化された漆を用いるなど、研究所ならではの最先端の内容を学んでいただくことができます。

1 内容

京都の漆工業界で現在活躍する講師陣や研究所研究員により、下地から加飾までの一連の作業を通して、漆工の基礎的技法の他、図案作成の基礎、金継ぎ、新しい素材を用いた実験など、基礎から作品制作まで充実した内容の研修を行います。

(1) 研修日程

令和7年4月11日(金)～令和8年3月13日(金)

週3日(月、水、金曜日 午前9時～午後4時)

※ 休日を除く。一部時間外実習あり。

(2) 会場

京都市産業技術研究所 他(一部外部での実習あり)

(3) 募集定員

約6名(定員に満たない場合は開催されない場合あり)

(4) 受講料等

260,000円

※ 令和7年度予算成立が前提となることから、変更の可能性があります。

※ 別途、道具類(2万円程度)等実費負担あり。

(5) 受講資格(次のいずれかの要件を満たされている方)

ア 本市漆工業関係の中小企業又はその従業員で、漆工に関する実務経験を有する方、
又は従事希望者等(学生可)

イ 理事長が特に適当と認める方

(6) 選考日程

第1回募集 令和6年11月13日(水)～令和6年12月 9日(月)

第2回募集 令和6年12月10日(火)～令和7年 1月27日(月)

※ 詳細については、募集要項を御参照ください。

2 申込方法

(地独)京都市産業技術研究所 HP (<https://tc-kyoto.or.jp/densan/sikko/>) からお申込みください。

※ WEBからお申込みができない場合は、お問い合わせください。

(TEL: 075-326-6100)



お申込みはこちら

3 問合せ先

(地独)京都市産業技術研究所 製品化・人材育成支援グループ(池永、橘)

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町9-1 京都リサーチパーク9号館南棟

TEL: 075-326-6100(代表) / FAX: 075-326-6200

URL: <https://tc-kyoto.or.jp/>



京都市産業技術研究所HP

研修内容

POINT

- 京都の第一線で活躍する講師陣から高度な技法・技術を習得できます。
- 科学的な視点を学ぶことで、漆に対する理解をより深められます。
- これまでにない材料や手法を取入れることで、新たな表現へ繋がられます。



▲ 加飾実習



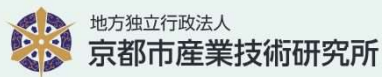
▲ 金継ぎ実習



▲ 作業風景



京漆器の基礎的な技法である「布着せ本堅地」や「呂色仕上」など塗漆技法の他、蒔絵、漆絵の基礎、乾漆技法による自由造形など、漆芸の基礎を幅広く学びます。



地方独立行政法人
京都市産業技術研究所

〒600-8815 京都府京都市下京区中堂寺栗田町91
京都リサーチパーク9号館南棟

定休日 土曜・日曜日、国民の祝日、年末年始(12/29～1/3)
開所時間 8:30～17:00
TEL 075-326-6100(代表)
WEB <https://tc-kyoto.or.jp/>

- JR嵯峨野線「丹波口」駅より徒歩10分
- 市バス「市立病院前」「京都リサーチパーク前」より徒歩5分
「西大路五条」より徒歩10分
- 駐車場(有料)・駐輪場(無料)あり



WEB



SNS



研修生募集

令和7年度 伝統産業技術後継者育成研修 漆工コース

研修日程

令和7年4月11日(金)～令和8年3月13日(金) (休講期間：夏期約10日、冬期約10日)
週3日(月、水、金曜日)

開催時間

9:00～16:00

会場

京都市産業技術研究所 他 (一部外部での実習あり)

募集定員

約6名

申込締切

第1回募集：令和6年12月9日(月) 第2回募集：令和7年1月27日(月)

＼お申込みはこちら／



地方独立行政法人 京都市産業技術研究所

研修について

（地独）京都市産業技術研究所では、京都の漆工業界の将来を担う人材の育成を目的として、漆工コースを開催し研修生を募集します。漆工コースでは、京都の漆工業界で現在活躍する講師陣や当研究所職員により、漆工の基礎的技法の他、塗漆技法、蒔絵・螺鈿などの加飾技法、乾漆技法による自由造形など、基礎から作品制作まで充実した内容の研修を行います。また、各研修生それぞれの課題に対し、研修生が十分に理解した上で技術を高めることができるよう、少人数で丁寧な指導を行うことが特徴です。さらに、高度な技法・技術を習得することに加えて、新しい材料や研究事業により開発・商品化された材料を用いた、研究所ならではのチャレンジに取り組みます。本コース修了生の多くは漆工業界に携わる技術者として、また漆芸作家としても活躍しています。

研修科目と内容

	科目	時間数	研修内容
実 習	加飾技法	165	①大パネル、②丸盆、③はがき箱、④弁当箱など、各自作成した図案をもとに金蒔絵を中心にした加飾技法を学ぶ
	塗漆技法	87	それぞれの作品の下地及び塗りの技法を学ぶ
	乾漆造形	51	乾漆について学ぶ
	金継ぎ実習	27	金継ぎについて学ぶ
	先端材料実験	18	漆工に関する科学的知識と実験手法の基礎を学ぶ
	応用実践	9	研究所で開発した漆について学ぶ
	学外特別実習	6	漆掻き実習（１回）
	制作実習	273	各人の計画を元に制作と作業を行う
講 義	漆工概論	12	漆工の歴史に関する解説
	漆工工学	9	漆工に関する技法についての解説
	デザイン概論	3	デザインに関する解説
	写真撮影講座	3	写真撮影に関する解説
	特別講義	3	漆工等業界関係者による講義
合計		666	実習：636時間、講義：30時間

講師紹介

（令和５年度 漆工コース 実績）

加飾実習	竹田 省 氏、服部 一齋 氏、加藤 友理 氏	漆工概論	田川 真千子 氏
塗漆技法	黒飛 亘 氏、杉本 晃則 氏	金継ぎ実習	枚田 夕佳 氏
乾漆造形	井上 絵美子 氏		

募集要項

研修日程	令和7年4月11日（金）～令和8年3月13日（金）（休講期間：夏期約10日、冬期約10日） 週3日（月、水、金曜日 9:00～16:00） ※休日を除く。一部時間外実習あり		
会 場	京都市産業技術研究所 他（一部外部での実習あり）		
募集定員	約6名 （定員に満たない場合は開催されない場合がございます）		
受講料等	260,000 円	※令和6年度実績。令和7年度予算成立が前提となることから、変更の可能性があります。 ※別途、道具類（2万円程度）等実費負担あり。	
受講資格	次のいずれかの要件を満たされている方 ● 本市漆工業関係の中小企業者又はその従業員で、漆工に関する実務経験を有する方、又は従事希望者等（学生可） ● 理事長が特に適当と認める方		
申込方法	(地独)京都市産業技術研究所HP申込フォームからお申込みください。 ※WEBからお申込みができない方は、お問い合わせください。(TEL：075-326-6100)		お申込みは こちら → 
選考日程	第1回募集 ● 申込期間：令和6年11月13日（水）～令和6年12月9日（月） ● 選考試験：令和6年12月19日（木）9:00から14:00頃まで ※可否は決定次第、郵送にて通知します。 第2回募集 ● 申込期間：令和6年12月10日（火）～令和7年1月27日（月） ● 選考試験：令和7年2月6日（木）9:00から14:00頃まで ※可否は決定次第、郵送にて通知します。		
選考試験	● 試験会場（地独）京都市産業技術研究所 所内 ● 試験科目 (1) 小論文（800字程度） (2) 鉛筆スケッチ実技試験 (3) 面接（面接では自作の小作品を持参のこと） ● 選考試験の案内は、申込締切後にメールで送信します。 (@tc-kyoto.or.jp) のドメインのメールをお受け取りいただけるよう、受信設定の確認をお願いいたします。		
受講許可	可否については決定次第、受験者に封書で通知します。電話等による問い合わせには応じません。		

お問い合わせ 製品化・人材育成支援グループ 池永・橘（電話番号 075-326-6100）
随時、見学・ご相談を承っております。お気軽にご連絡ください。

